

授業科目名	リハビリテーション医学	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	北岡 裕也、開発 基文	単位数	1単位	時間数	15時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>新技術の開発展開は、医療の姿を根底から変え患者中心の新しい医療のありようが問われています。その中で、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として、チーム医療を行うメンバーとして必要な知識を身につける。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>リハビリテーションに必要な一般的知識を幅広く学習し、疾患概要などの基盤を構築する。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	リハビリテーション医学の定義とICFについて、様々な機能別検査法				〔北岡〕
第 2 回	検査法に加えて機能別の評価方法やADLの評価法など				〔北岡〕
第 3 回	各疾患・障害のリハビリテーション①脳卒中②脊髄損傷など				〔北岡〕
第 4 回	各疾患・障害のリハビリテーション③心疾患・呼吸器疾患など				〔北岡〕
第 5 回	各疾患・障害のリハビリテーション④廃用症候群、⑤外傷性脳損傷など				〔北岡〕
第 6 回	基本動作（歩行、移乗）の基本と介助方法（実技含む）				〔北岡〕
第 7 回	義肢・装具、コミュニケーション機器				〔開発〕
第 8 回	まとめ（リハビリテーション医学の国家試験問題の演習含む）				〔北岡〕
評価方法	筆記試験90%、小テスト10%				
教科書 参考図書	〔教科書〕 適宜資料配布				
履修上の 留意点					
メッセージ	幅広い分野の学習となるので、他の科目との融合性が必要です。				